伊丹市立総合教育センターだより

カラフルな教育　伊丹市立総合教育センター

秋号

No.259（令和6年10月発行）

時計台

発行所
伊丹市千僧1丁目1番地
総合教育センター

学習eポータルを「学びの充実」につなげる

本市では、昨年度の一月に「教育DX推進指針」を策定しました。この秋から活用が始まる学習eポータルは、本指針における「学びの充実」に資するものです。

では、学習eポータルで具体的に何ができるようになるのでしょうか。子どもの目線からは、

① 様々なデジタルコンテンツにアクセスしやすくなります。パスワードを入力しなくてもMEXCBT＊等にログインできたり、コンテンツが一か所にまとめられ電子書籍等へのアクセスが容易になったりします。

② 学習状況等を把握しやすくなります。学習eポータルを通じて取り組んだデジタルドリルなどの使用状況が可視化されます。

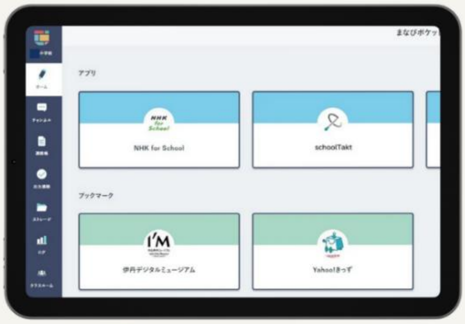
もちろん、教師にとっても子どもたちの学習状況等が把握しやすくなり、きめ細かな指導に生かすことができるため個別最適で協働的な学びの推進が期待されます。

教育データの利活用は、今後さらに進むものと思われますが、子ども理解においては、一つのツールであることも忘れてはなりません。客観的なデータを参考にしながら、人間と人間が関わりながら互いに理解し合うことも大切です。また、教育データは子ども自身が活用できるようにするという視点が大切です。学びの充実に向け、デジタルを主体的に使いこなせる情報活用能力の育成に取り組んでいきましょう。

総合教育センター所長
山下　拓志郎

＊文部科学省が展開を進めている、オンライン上で学習やアセスメントができる公的CBT（Computer Based Testing）プラットフォームです。
令和７年度の全国学力・学習状況調査における理科において、MEXCBTが使われる予定です。

まなびポケットでできること5選



学習eポータルとは「日本の初等中等教育(学校教育)に適した共通で必要な学習管理機能を備えたソフトウェアシステム」のことです。

まなびポケットサポートサイト

シングルサインオン
まなびポケットのアカウントでログインすれば、スクールタクトやドリルパークのログインは不要！

学習の玄関口
ホーム画面に学習コンテンツが豊富にあり、学習の玄関口となり使いやすい！

ストレージ機能
ファイルを共有でき、配布物や課題を一斉に配布することも可能！

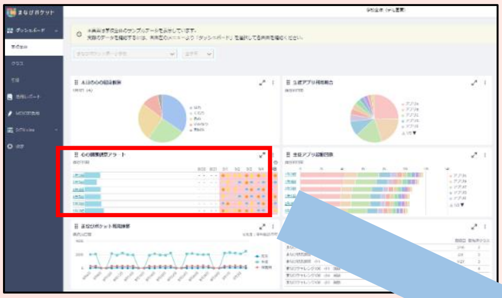
ダッシュボード機能
児童・生徒の学習コンテンツの使用状況を確認できる。データ連携された学習状況を見て指導に活かす！

連絡ツール
先生から児童・生徒への連絡や先生同士の連絡としても活用できる！

担当（小野）

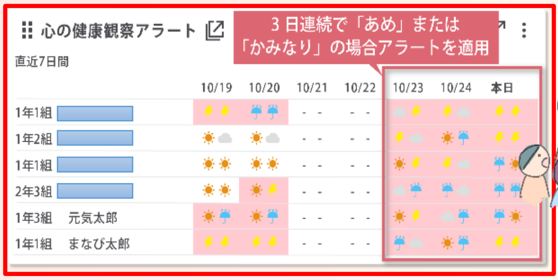
まなポケの機能を1つを紹介

ダッシュボード機能で教育データを一元的に可視化



【心の健康観察】

毎日の児童・生徒の心や体調の状態を把握できます。連続で3日以上ネガティブな回答である「あめ」または「かみなり」を選択した児童・生徒をアラート表示し、すぐに支援が必要な児童・生徒の早期発見ができます。



・学習コンテンツのアクセス状況
・MEXCBTの実施結果
・ScTN質問紙の結果
・心の健康観察 などが一括で閲覧できます

担当（小野）

「伊丹こども電子図書館」 10月1日にスタートしました！

「伊丹こども電子図書館」は、本に親しんでもらう機会を増やし、子どもの読書習慣定着を目指すために導入したインターネット上の図書館です。

スマホ・パソコン・タブレットで、いつでもどこでも電子書籍を読むことができます。“こども”という名称のとおり、幼児から中学生くらいまでを対象とした電子書籍を今年度中に1,400冊ほど取りそろえる予定です。その中には、同時に何人でも閲覧可能な「読み放題」の電子書籍もあるため、市内小中学校の児童生徒はタブレット端末を使って、朝読や授業でみんなで同じ電子書籍を読むこともできます。

もちろん大人の方もご利用いただけますので、気軽に本に触れることができる電子図書館を是非お楽しみください。

担当（伊丹市立図書館 ことば蔵）

伊丹こども電子図書館HP

授業力向上（カリキュラム）支援センターからのお知らせ

学級づくりや授業で迷ったら、ぜひカリセンへ…オンライン相談も開始予定！

2学期が始まり、学級づくりや授業で少し悩んでいたり、ちょっと聞きたいなと思うことがある先生方へ…カリキュラムセンターまでお気軽にご相談ください。

① 学校へコンサルタントを派遣
② 先生ご自身が来所

というこれまでの形に加え、

③ オンラインでの相談

を計画しています。

オンライン相談を実施することで、より先生方の働き方やニーズに応じた時間での相談が可能となります。

申込方法や開始時期については、別途ご案内いたします。

担当（近田）